

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 子どもの読書習慣につながる機会の充実

施策1-1 乳幼児が本に親しむ機会の充実

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	「あだちはじめてえほん」事業の実施	中央図書館	乳幼児の読書習慣定着のため、3～4か月児健診対象者には区内の各保健センター等で絵本の配付と読み語りを、1歳6か月児健診対象者には引換券を配付し絵本と交換します。 特に今後は、1歳6か月児健診対象者への絵本の配付方法を見直すことにより、配付率の向上を図っていきます。また、配付する絵本の電子書籍化の動向を注視し、紙の本と電子書籍をどちらでも楽しめるよう「あだち電子図書館」の蔵書への追加を検討していきます。	配付率	3～4か月児健診の受診者に対して絵本を配付した割合（算出式 A÷B） A 3～4か月児健診時に絵本を配付した冊数（現状値 5,022冊）、B 3～4か月児健診の受診者数（現状値 5,047人）	99.5%	99.7%	100.0%
					1歳6か月児健診の受診者が、別途区内図書館などの引き換え場所まで絵本を引き換えた割合（算出式 A÷B） ※行政評価指標（4177読書活動推進事業） A 1歳6か月児健診受診者が絵本を引き換えた冊数（現状値3,390冊）、 B 1歳6か月児健診受診者への引換券送付数（現状値 5,228人）	64.8%	55.7%	85.0%
2	幼稚園、保育園、こども園における読み語りの推進	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園での日常の保育の中で、乳幼児期から本に親しむ読書習慣を身に付けるための読み語りを推進します。	実施率	私立幼稚園（50園）における、本の読み語り実施率（算出式 A÷B） A 実施園数、B 総園数	34.0%	44.0%	60.0%
					公立保育園、区立こども園、私立保育園（157園）における、本の読み語り実施率（算出式 A÷B） A 実施園数、B 総園数	83.4%	89.2%	100.0%
3	幼稚園、保育園、こども園文庫の貸出の推進	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園に、施設環境に合わせた図書スペースを確保し、地域の子ども図書館として機能させます。	実施率	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園における、園文庫の貸出実施率（算出式 A÷B） A 実施園数、B 総園数	41.0%	32.0%	49.0%
4	ボランティア等によるおはなし会の開催	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園で、絵本や物語を楽しむことで、様々な人とふれあい、子どもの成長につなげます。	実施率	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園における、ボランティア等によるおはなし会の実施率（算出式 A÷B） A 実施園数、B 総園数	14.3%	3.9%	22.0%
5	「子育てサロン」での本に親しむ活動の充実	住区推進課	0歳から3歳の乳幼児と保護者を対象にした子育てサロンで、読み語りを通じて子どもには絵本の楽しさを、大人には読み語りの大切さを伝えます。 また、サロン内に図書コーナーを整備し、希望者には貸出を行うことで、本に触れる機会を提供します。	実施回数	子育てサロンにおける読み語りの会の回数	2,319回	1,085回	2,960回
6	子育て施設におけるおはなし会の充実	生涯学習振興公社	区内施設（保育園・幼稚園・小学校・図書館・住区センター等）で、読み語りボランティア「読み語りキャラバン隊」による乳幼児から小学生、親子に向けてのおはなし会を実施します。	実施回数 参加者数	区内施設（保育園・幼稚園・小学校・図書館・住区センター等）における、乳幼児から小学生、親子を対象とした「読み語りキャラバン隊」によるおはなし会の回数 《【】内は参加者数》	6回 【575人】	3回 【84人】	6回 【600人】
7	出産前・乳児期からの読み語りの推進	中央図書館	妊娠期・子育て期の保護者を対象に、乳児向けの「読み語りにおすすめの絵本」や「読み語りのガイドブック」を区ホームページ・SNSなどで発信するとともに、胎教としての読み語りについても検討していきます。	発信回数	出産前・乳児期の読み語りに関する情報発信の回数	—	—	180回

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 子どもの読書習慣につながる機会の充実

施策1-2 子どもの読書習慣が身に付く活動の推進

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	区立図書館でのおはなし会・映画会	中央図書館	幼児から小学生までを対象に、区立図書館でのおはなし会と映画会を実施します。図書館をより身近に感じてもらう、図書館の利用を促進することで、子どもの読書活動を推進します。	実施回数 参加者数	幼児から小学生までを対象とした、おはなし会と映画会の実施回数 《【】内は参加者数》	1,268回 【20,948人】	980回 【5,026人】	1,300回 【21,000人】
2	出張おはなし会の実施	中央図書館	小学校・児童館・子育てサロン・保育園等に区立図書館が本の楽しさを伝え、図書館の利用を促すためにおはなし会を実施します。 今後は、協働・協創の理念を踏まえて、NPOや企業と連携した取り組みについても検討し、活動の幅を広げていきます。	実施回数 参加者数	小学校で実施した、出張おはなし会の回数 《【】内は参加者数》	—	131回 【3,628人】	350回 【20,000人】
					児童館で実施した、出張おはなし会の回数 《【】内は参加者数》	—	41回 【290人】	120回 【3,000人】
					子育てサロンで実施した、出張おはなし会の回数 《【】内は参加者数》	—	8回 【117人】	30回 【2,000人】
					保育園等で実施した、出張おはなし会の回数 《【】内は参加者数》	—	55回 【555人】	150回 【3,000人】
					その他の場所（ギャラクシティ、梅田地域学習センター、大谷団地など）で実施した、出張おはなし会の回数 《【】内は参加者数》	—	40回 【402人】	100回 【2,000人】
					小学校・児童館・子育てサロン・保育園等で実施した、出張おはなし会の合計実施回数 《【】内は参加者数》	705回 【28,312人】	275回 【4,992人】	750回 【30,000人】
3	児童館におけるおはなし会の充実	住区推進課	乳幼児期から絵本に親しみ、絵本を好きになり、読書習慣の基礎をつくることを目的として、児童館で乳幼児向けと小学生向けに、おはなし会を実施します。	実施回数 参加者数	児童館における、乳幼児向けと小学生向け読み語りやおはなし会の実施回数 《【】内は参加者数》	712回 【19,716人】	548回 【5,683人】	1,200回 【36,000人】
4	区立図書館との連携（区立図書館を活用した本とのふれあいやマナーの学習）	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園から区立図書館に向き、本とふれあうとともに、図書館や公共施設を使う場合の施設利用のマナーを学びます。	訪問回数	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園の園児が図書館に訪問した回数	341回	197回	420回
5	「あだち読書通帳」の活用	中央図書館	読んだ本を記録することで、子どもが自ら本に向き合い、さらに読書が習慣化することを目指します。そのために区立図書館だけでなく、幼稚園、保育園、こども園、小学校などと連携して、読書記録を残す「あだち読書通帳」の活用を拡大していきます。 活用にあたっては、読書通帳が主に学校などでどのように活用され読書機会の提供につながっているかを分析するとともに、好事例を共有することで、さらなる活用につなげていきます。 なお、令和4年1月からは区立図書館で借りた本の情報をWeb上のマイページで閲覧できるようになったため、紙の通帳ではなく貸与されたタブレットでも過去に読んだ本やもう一度読みたい本を探せることをPRしていきます。	年間配付冊数	区立図書館や、幼稚園、保育園、こども園、小学校等で配付した、あだち読書通帳の年間配付冊数	10,667冊	33,758冊	30,000冊
6	放課後子ども教室における学校図書館の利用	生涯学習振興公社	放課後子ども教室の活動場所として、学校図書館を利用し、放課後の時間帯に本を読んだり、宿題等自主学習のために調べ学習をおこないます。	利用校数	「放課後子ども教室」の事業の一環として、学校図書館を利用している学校数	69校	33校	67校
7	放課後子ども教室における読書啓発（体験プログラム～放課後+One～）	生涯学習振興公社	放課後子ども教室で児童が本に親しみ、読書が楽しめるよう、様々なプログラムを組んで、読書のきっかけづくりに取り組みます。	実施校数	「放課後子ども教室」における、読書のきっかけづくりとなる関連プログラムの実施校数	48校	33校	67校

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 子どもの読書習慣につながる機会の充実

施策1-3 子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	区立図書館での親子おはなし会	中央図書館	親子対象のおはなし会を通じて読み語りの重要性について伝えることで、読み語りの大切さを保護者等にも伝えるとともに、子どもの読書習慣の定着を図ります。	参加人数	親子を対象としたおはなし会の参加人数	18,142人	4,405人	20,000人
2	「フレママプレバパ」のための啓発事業	中央図書館	各保健センター等と連携して、出産前の妊婦および父親を対象とした教室でこれからの育児に役立つブックリストの配布や読み語りを実施します。 ※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を実施していない。	配布枚数	生まれてくる子どもに読ませたい絵本・親に読書をすすめるブックリストの配布枚数	19枚	0枚	4,000枚
3	年齢・成長発達に応じた図書を紹介	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園で園だよりや保護者会等を通じて読み語りの楽しさや意義を保護者に伝えるとともに、子どもの年齢・興味・関心に合わせた図書の紹介をしていきます。	実施率	幼稚園（50園）における実施率 （算出式 A÷B） A 実施園数、B 総園数	30.1%	40.0%	60.0%
				実施率	公立保育園、区立こども園、私立保育園（157園）における実施率 （算出式 A÷B） A 実施園数、B 総園数	64.3%	77.1%	100.0%
4	地域の乳幼児と保護者へのおはなし会の開催	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園で地域の乳幼児と保護者を招いたおはなし会や、各保健センター等でのファミリー学級に保育士を派遣し「絵本の読み語り」を実施します。 ※ ファミリー学級に保育士を派遣した「絵本の読み語り」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度は事業を実施していない。	実施回数	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園における、地域の乳幼児と保護者を招いたおはなし会の実施回数	188回	40回	260回
				実施回数	各保健センター等でのファミリー学級に保育士を派遣した「絵本の読み語り」の実施回数	38回	0回	40回
5	小学生向け図書情報紙の配布	中央図書館	近年出版された児童書の中から、子どもの発達段階ごとに知識や読み物など複数の分野の本を紹介する「あつまれおもしろい本」を年1回作成し、読書に触れる機会を提供します。区立図書館で活用するとともに、区立小学校全生徒に配布します。	発行部数	子ども達へのおすすめ本リスト「おもしろい本あつまれ」の発行部数	48,000部	48,000部	48,000部
6	ティーンズ向け図書情報紙の配布	中央図書館	児童書では物足りなく、一般書では自分にあったものが見つからない、という世代に向けて本を紹介する「ティーンズスコープ」を中学校の学校図書館と連携して作成し、読書離れが進む10代の読書活動を促進します。区立中学校全生徒に配布するとともに、区立図書館や区内の高等学校での活用を進めます。	発行部数	ティーンズ向け図書情報誌「ティーンズスコープ」の発行部数	26,500部	48,000部	46,500部
7	インターネットによる子ども・ティーンズ情報の提供	中央図書館	「あつまれおもしろい本」や「ティーンズスコープ」など中央図書館が発行する情報紙の内容をホームページに掲載しています。また、図書館のホームページ内にある「こどもページ」では年齢や成長に合わせた本の紹介やイベント情報を、「ティーンズコーナー」では新着本の紹介や定期的の特集を組むなど、継続して情報を発信していきます。	アクセス件数	図書館ホームページ（こども・ティーンズコーナー）のアクセス件数	3,774件	6,209件	6,500件

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 子どもの読書習慣につながる機会の充実

施策1-3 子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
8	子ども一日図書館員の実施	中央図書館	小学生が図書館の仕事を体験して、図書館の役割や本の分類などを知ることで、より本に親しめる事を目指します。	受入人数	小学生を対象とした、子ども一日図書館員の受入人数	142人	13人	150人
9	中学生体験学習の受入れ	中央図書館	中学生を対象に、図書館でのカウンター業務（利用登録・予約・貸出・返却）や資料検索等を学ぶための体験学習を受け入れます。	受入人数	図書館でのカウンター業務等の学習を目的とした、中学生体験学習の受入人数	477人	119人	500人
10	読書週間事業の実施	中央図書館	読書週間の事業として、館内で様々な特集や事業を実施します。「あだち読書通帳」を活用したり、本を読むと答えがわかるクイズなどの手法を使ったりすることで、様々な角度から子どもが本と触れ合うきっかけを作り、読書習慣の定着を目指します。	参加人数	読書週間事業（ブックラリー等）の参加人数	3,282人	7,704人	8,000人
11	読書週間講演会の実施	中央図書館	読書週間の事業として、絵本作家の講演や親子ワークショップを実施します。日常的な図書館のイベントとは異なる形で読書を楽しむきっかけを提供し、本の楽しさを知ってもらうことで、子どもの読書習慣の定着を測ります。	参加人数	読書週間講演会（絵本作家の講演等）の参加人数 ※春・秋1回ずつ。定員150名。	230人	213人	270人

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 子どもの読書習慣につながる機会の充実

施策1-4 本に親しみ、学ぶための学校図書館の充実と活用

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	学校図書館の図書資料の充実整備	教育政策課 学校支援課	児童・生徒の興味・関心やニーズに応える魅力的な資料を整備・充実します。 計画的な購入、更新に取り組み、学校図書館図書標準等の蔵書数を確保し、適正な蔵書構成割合を維持します。	国基準蔵書数を超えている学校の割合	文部科学省が示している学校図書館の基準蔵書数を超えている小・中学校の割合	97.0%	100.0%	100.0%
2	学校図書資料の活用推進	教育政策課	児童・生徒の読書活動や学習活動の充実に向け、学校図書館や図書資料を活用できる環境や条件を整えていきます。また、中学校では調べ学習や一般の図書館の活用も考慮し、蔵書の分類記号を見直します。	図書分類方法を3桁分類にしている学校の割合	学校図書館の蔵書を日本十進法の2桁分類から3桁分類へ全て変更した中学校の割合	—	22.9%	100.0%
3	学校司書・学校図書館支援員の配置	教育政策課	全ての区立中学校に学校司書、小学校に学校図書館支援員を配置し、学校図書館の環境整備を行うとともに、教員が行う学校図書館を活用した児童・生徒の読書活動や学習活動を支援します。 <取り組み内容> ア 学校図書館の環境整備 イ 授業における学校図書館活用の推進 ウ 読書活動の推進及び定着	配置校の割合	学校司書配置の中学校の割合	100.0%	100.0%	100.0%
					学校図書館支援員週4日配置の小学校の割合	—	—	100.0%
4	「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加	教育指導課	図書館の利活用を通じた児童・生徒の情報活用能力の育成を目的とし、授業の中で主体的な学習に取り組みます。児童・生徒が自ら学びたい課題を見出し、様々な資料を用いて調べ、まとめる学習の習慣化を図っていきます。そうした学習の延長線上で図書館を使った「調べる学習コンクール」への参加を促していきます。	参加者数 参加率	足立区の公立小中学校に在籍する児童・生徒を対象にした、「図書館を使った調べる学習コンクール」の小学校における参加者数・参加率（参加校数÷学校数）	—	7,739人 97.1%	8,000人 100.0%
					足立区の公立小中学校に在籍する児童・生徒を対象にした、「図書館を使った調べる学習コンクール」の中学校における参加者数・参加率（参加校数÷学校数）	—	2,493人 77.1%	2,700人 85.0%
5	調べ学習用図書資料配送サービスの実施	中央図書館	区立小中学校の調べ学習のために、調べ学習用図書セットを準備し、区ホームページで申し込みを受け付けます。また、各学校で調べ学習用図書が借りやすいように調べ学習用図書の配送サービスを行います。 また、小中学校の教員を対象にアンケートを実施するなどニーズの把握を行い、図書セットの内容の充実を図ります。	配送回数 冊数 利用率	小学校における図書資料の配送回数・冊数・利用率（利用校÷学校数）	—	174回 6,617冊 47.8%	200回 8,000冊 90.0%
					中学校における図書資料の配送回数・冊数・利用率（利用校÷学校数）	—	17回 585冊 11.4%	100回 1,000冊 90.0%
6	家庭への読書活動の推進	教育指導課	学校だよりや学校図書館だより等により読書の意義を伝えるとともに、学年に応じた図書を紹介しています。今後は内容の充実や学校ホームページへの掲載を検討し、保護者の読書への関心を深めます。	配付校数	学校（学級）だより・学校図書館だより配付校数	95校	104校	102校

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実

施策2-1 区立図書館資料の充実と活用

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	図書資料の充実と選定方針の明確化	中央図書館	区立図書館の図書資料について、分野や利用者の年齢構成、時代の要請などを考慮して計画的な選定を進めます。資料は中央図書館で一括して選定し、効率的な収集に努めます。	年間購入数	区民一人あたりの図書資料年間購入数	0,093冊	0,088冊	0,093冊
2	視聴覚資料の充実	中央図書館	足立区立中央図書館のCD・DVD（ビデオ）について、CDの生産の減少や視聴覚資料のインターネット音楽配信サービスの導入を踏まえて、計画的に選定していきます。	蔵書数	CD・DVD（ビデオ）等の視聴覚資料の蔵書数	23,747点	22,829点	23,800点
3	区立図書館展示コーナーの充実	中央図書館	15か所の区立図書館が、区民に読書や図書資料への関心を高めようために、子どもたちの学校生活や子育て、仕事など、主に日々の暮らしに身近なテーマを取り上げ、各館ごとに工夫を凝らした展示を実施しています。 それぞれの区立図書館では、各館が工夫して特集への関心を高めようための情報発信に努めます。また、ICタグの活用により、複合施設内の図書館以外の場所を活用したアウトリーチ型の図書展示をさらに展開し、普段図書館を利用しない方にも本を手に取りやすい環境を整備していきます。	実施回数	時事に合わせた課題や地域課題の特集展示の実施回数	1,283回	1,305回	1,500回
4	電子書籍（「あだち電子図書館」）の充実	中央図書館	足立区立図書館ホームページにウェブサイト上の「電子図書館」を設け、自宅のパソコンやスマートフォンから電子書籍が読めるようにすることで、「いつでも」「どこでも」「気軽に」読書が楽しめる環境を提供しています。 主なターゲット層などを踏まえて計画的に選書を行うとともに、紙の本とのバランスや電子書籍の普及状況に留意しながら、蔵書の充実を図ります。	蔵書数	電子書籍（「あだち電子図書館」）の蔵書数	—	3,022冊	7,500冊

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実

施策2-2 障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる図書資料などの整備

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	ユニバーサルデザインに基づく館内環境の整備	中央図書館	大規模改修などの機会を捉え、館内案内サインの多言語化とピクトグラム表示に取り組みます。誰もが利用しやすい環境を整えることで、図書館の利用促進を図ります。	設置館数	館内案内サインの多言語化とピクトグラム表示の設置館数	5館	7館	15館
2	障がい者向け図書資料宅配サービスの拡大	中央図書館	身体障がいなどの理由により図書館へ来館することが困難な方の読書活動を推進するため、電話や郵便、インターネットなどで申し込みを受け付け、希望の図書資料を宅配します。利用対象者の拡大に合わせて利用者の増も図れるよう、関係団体や障がい者施設への聞き取り調査を実施し、使いやすいサービスに向けた改善を行います。	アクセス件数	区ホームページの該当ページ（「ハンディキャップサービス」）へのアクセス件数	—	1,393件	1,500件
3	読書が困難な方向けの様々な図書資料の整備	中央図書館	一般的な活字図書による読書が困難な方でも利用できるよう、大活字本、布絵本、LLブック、テジー（録音）図書、点字図書の収集や「りんごの棚」の整備を図るとともに、これらのサービスについての情報発信を行います。	年間購入数	大活字本の年間購入数【視覚・発達】	509冊	248冊	450冊
					布絵本の年間購入数【視覚・発達・知的・肢体不自由】	—	0冊	30冊
					LLブックの年間購入数【発達・知的】	4冊	10冊	30冊
					テジー図書の年間購入数【視覚・発達・知的・肢体不自由】	31冊	12冊	70冊
					点字図書の年間購入数【視覚】	295冊	151冊	320冊
4	外国語図書資料の充実	中央図書館	外国語図書資料や「やさしい日本語」の図書資料の充実を図り、日本語を母国語としない方でも図書館を利用しやすい環境を作ります。	年間購入数	英語、中国語、韓国語、やさしい日本語図書資料の年間購入数	64冊	84冊	140冊
5	電子書籍（マルチメディアテジー）の導入	中央図書館	発達障がい、知的障がい、上肢障がい、視覚障がいなどのために通常の書籍を読むことが困難な方でも読書の楽しさに触れられるよう、マルチメディアテジー図書を計画的に導入していきます。	蔵書数	マルチメディアテジー図書蔵書数	—	36点	540点

（注）【 】内は、主に対象としている障がいの種別

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実

施策2-3 区立図書館などの空間、サービス、情報発信の充実

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	誰もが利用しやすい図書館の環境整備	中央図書館	書架の高さや配置、閲覧コーナー設置などを工夫し誰もが利用しやすい空間づくりを進めます。また、乳幼児コーナーを充実し、「あかちゃんタイム」の啓発などを通じて小さな子ども連れでも利用しやすい環境を作ります。 ICタグの導入に合わせ、複合施設の機能を活かして、図書館以外の場所を活用したアウトリーチ型の展示や子どもの居場所づくりなど、誰もが利用しやすい図書館を目指します。 また、利用者の利便性向上を図るため、図書館システムと電子図書館システムの機能連携や、図書貸出カードの電子化など、図書館サービスのデジタル化に努めます。	来館者数	区立図書館における来館者数 ※行政評価指標（4168図書館管理事務）	2,731,936人	2,137,742人	2,806,000人
2	レファレンス機能の充実	中央図書館	利用者の相談に応じて、調べている内容、知りたい情報が載っている資料を提供することで、利用者の調べものをサポートします。 また、利用者の調査・研究や課題解決のためにレファレンス事例を公開し、課題解決までの期間の短縮を図るとともに、図書館の利用促進につなげます。	受付件数 公開事例件数	利用者の調査・研究や課題解決のための、レファレンス受付件数 《 》内は公開事例件数	43,287件 【88件】	32,383件 【211件】	47,000件 【350件】
3	図書館内のWeb環境の整備	中央図書館	図書館内における利用者の情報収集の手助けとなるよう、Wi-Fi環境の整備、利用者用インターネット端末の提供、電源設備環境を整備します。	設置館数	電源設備の設置館数	—	13館	15館
				利用者数	Wi-Fiの利用者数 ※行政評価指標（4176図書館ネットワークシステム管理事務）	48,093人	94,516人	100,000人
					インターネット端末の利用者数	8,927人	6,411人	9,000人
4	ICタグを活用した、読書、学習空間の整備	中央図書館	ICタグを活用して、図書資料の配置や特集棚等の設置空間を新たに創出します。また、自動貸出機や予約棚の設置によりサービスの充実やプライバシーに配慮した貸出を目指します。	設置箇所数	区立図書館におけるICタグの設置箇所数	—	15館	15館
5	図書受渡窓口の充実・図書資料返却ボックスの設置	中央図書館	商業施設内など利便性の高い場所への図書資料返却ボックスの設置を図ります。また、駅の近くなどで図書館やインターネットで予約した図書資料等の貸出・返却、個人貸出カードの作成等ができる図書受渡窓口の拡大を検討します。	図書貸出冊数	図書受渡窓口における図書貸出冊数	188,321冊	166,438冊	258,000冊
				設置数	商業施設等へのブックポスト設置数	—	—	3か所
6	区内大学図書館との連携・相互協力	シティプロモーション課	区内大学との連携により、大学図書館を区民開放することで、大学が有する高度な専門的知識を区民に還元します。区では、区民開放している大学図書館の情報を区ホームページに掲載し、区民の利用促進を図ります。	図書館数	区民が利用できる大学図書館数	4校	5校	5校
7	インターネット環境も活用した図書館情報の発信	中央図書館	図書館や本の情報を掲載した図書館だより「かけはし」の発行に加え、ウェブサイトやSNSを活用した情報の発信も行います。 図書館システムには特集本や新着本のご紹介とともに、ご希望の新着本をメールでお知らせする「新着図書お知らせメールサービス」機能があります。気軽に本の情報を得るツールとして利用者へのPRを進めていきます。	配布部数	図書館だより「かけはし」の配布部数	14,400部	10,462部	14,400部
				アクセス件数	図書館トップページのアクセス件数	1,507,550件	1,760,750件	1,800,000件
				アクセス件数	図書情報やイベント情報を発信した、SNSのアクセス件数	479,971件	788,398件	800,000件
8	地域学習センターミニコミ紙の配布	生涯学習支援課	毎月発行の学習センターミニコミ紙に図書館の最新情報を掲載しています。幅広い人々に手に取ってもらえるよう、各施設や駅構内、商業施設など公共施設以外にも設置します。	配布部数	図書館の最新情報等を掲載した、地域学習センターミニコミ紙の配布部数	504,000部	514,800部	504,000部

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実

施策2-3 区立図書館などの空間、サービス、情報発信の充実

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
9	綾瀬小学校学校図書館地域開放事業	学校支援課 中央図書館	<p>地域の子どもに「本と出会う場所」を提供し、子どもへの読書習慣の定着を図るため、乳幼児とその保護者、小学生を対象に、土曜日・日曜日・祝日と夏休み・春休み期間の一部に区立綾瀬小学校の学校図書館を地域に開放します。</p> <p>子どもへの読書から身近に、気軽に本にふれるためのきっかけづくりの場として、声を出してもいい、本を読まなくても楽しめるなど、区立図書館とは異なる視点で、事業内容や情報発信の強化を図っていきます。</p>	利用者数	1日あたりの平均利用者数	-	-	70人
				貸出冊数	1日あたりの平均貸出冊数	-	-	80冊

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱3 読書活動を通じた人と人とのつながりの形成

施策3-1 読書活動にかかわる人材の育成と団体の支援

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	読み語り講座（入門、フォローアップ）の実施	中央図書館	区内各地域で絵本の読み語り活動が活発に行われるよう、読み語りの入門やフォローアップの講座を開催します。受講した方には講座終了後、各ボランティア団体などを紹介して、実際の活動へとつなげていきます。	実施回数	入門講座の実施回数・参加者数 《 〇 》内は参加者数 ※行政評価指標（4177読書活動推進事業）	2回 【48人】	2回 【34人】	2回 【50人】
				参加者数	フォローアップ講座の実施回数・参加者数 《 〇 》内は参加者数 ※行政評価指標（4177読書活動推進事業）	4回 【56人】	2回 【50人】	5回 【90人】
2	学校図書館ボランティア養成・スキルアップ講座等の実施	中央図書館	学校図書館で活動する学校図書館ボランティアのための講座を行い、スキルアップを図ることで、子どもの読書週間定着につなげます。	講座が実際の活動に役立つと思うと答えた方の割合	アンケートで「講座が実際の活動に役立つと思う」と答えた方の割合	—	90.0%	100.0%
3	団体登録者に対する団体貸出の利用促進	中央図書館	区立小中学校やボランティア等の団体登録者に対して、貸し出す図書資料の対象範囲の拡大や、インターネットを通じた図書資料の予約受付の開始など、環境整備を図ってきました。今後は、小中学校向けの調べ学習用図書セットの内容の充実等を通じて、引き続き団体貸し出しの利用促進を図っていきます。	登録数	団体登録の登録数	2,586団体	2,732団体	3,000団体
4	あだちこどもサポーター（子どもの体験・交流活動にかかわる地域人材）の育成と活動	生涯学習振興公社	あだちこどもサポーター（子どもの体験・交流活動にかかわる地域人材）の育成のための講習会を実施、講習会終了後には「読み語りキャラバン隊」や放課後子ども教室での「読書支援サポーター」としての活動を支援します。	活動人数	「読み語りキャラバン隊」や放課後子ども教室での「読書支援サポーター」としての活動人数	33人	0人	50人
5	あだち絵本シアター（子どもへの読み語りと読み語り人材の育成）	住区推進課 中央図書館	読み語りのイベントを通じて、子どもには絵本の楽しさを、大人には読み語りの大切さを伝えます。また、民間事業者と連携して読み語り講座を開催するとともに、子育てサロン、児童館や商業施設での読み語りイベントで実践の場を提供し、人材の育成と活動の循環を目指します。	実施回数	読み語りイベントの実施回数 《 〇 》内は参加者数	5回 【396人】	2回 【55人】	5回 【1,000人】
				参加者数	読み語り講座の実施回数 《 〇 》内は参加者数	1回 【11人】	2回 【32人】	2回 【50人】
6	学校図書館教職員研修	教育政策課	学校図書館担当教諭等の教職員を対象に、学校図書館の利用指導、読書指導、情報活用に関する事項、学校図書館機能を生かした学習指導、指導法等を学ぶ研修などを実施します。	実施回数 参加者数	学校図書館担当教諭等へ向けた学校図書館の活用方法や図書館機能を活かした指導方法についての研修の年間実施回数 《 〇 》内は参加者数	2回 【191人】	3回 【312人】	2回 【204人】
7	読み語りに関する講習会の開催	子ども政策課 子ども施設運営課	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園で、読み語りに関する職員向け講習会を実施します。	参加者数	公立保育園、区立こども園、私立保育園、私立幼稚園における、読み語りに関する職員向け講習会の参加者数	177人	200人	380人

足立区読書活動推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱3 読書活動を通じた人と人とのつながりの形成

施策3-2 読書活動推進のための多様な連携と協創の推進

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	区立図書館が行う「読書をきっかけに人がつながる事業」の実施	中央図書館	本の交換会や読書サロンなど、本や読書をきっかけとして参加者同士がコミュニケーションを図れるような事業を展開することで、人と人との新たなつながりや交流の形成を目指します。	実施回数	本や読書をきっかけとした、コミュニケーションを図れるよう働きかける事業の実施回数	—	12回	30回
2	文化・読書・スポーツ活動協創推進事業	地域文化課 生涯学習支援課 スポーツ振興課 中央図書館	より多くの区民が文化・読書・スポーツの楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きることができるよう、各分野相互の連携事業として、地域学習センターを中心に「ちよいスポ」「ちよい読み」「ちよいカル」を展開していきます。 例えば、「ちよい読み」では、ヨガやピラティスなどの運動系講座の中でスポーツ関連のおすすめ本を紹介しています。	実施回数 参加者数	分野間で連携した、協創推進事業の年間の総実施回数 《【 】は参加者数》	—	752回 [5,954人]	3,360回 [33,600人]
3	アウトリーチ事業	中央図書館	図書館を利用しない人、読書に関心がない人に向けて、まちで本にふれ読書の楽しさを知る場を提供していくために、協創力を発揮して民間施設や出版社、書店などと連携した活動を実施していきます。 また、文化芸術分野の劇場公演と読み語りイベントの連携など、他の分野をきっかけに読書への関心・行動につながる事業を展開していきます。	実施回数 参加者数	図書館に来ない人・来られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数 《【 】は参加者数》	—	10回 [620人]	60回 [1,800人]